

平成23 年11月14 日

各 位

会社名 株式会社省電舎
代表者名代表取締役社長 川上 光一
(コード：1711 東証マザーズ)
問合せ先取締役経営管理部長 嘉納 毅
(Tel 03-6821-0004)

バイオガス発電事業の推進について

未曾有の被害をもたらした東日本大震災により、我が国におけるエネルギー供給課題が浮き彫りとなり、その課題解決に向けた取り組みが急速に進められております。

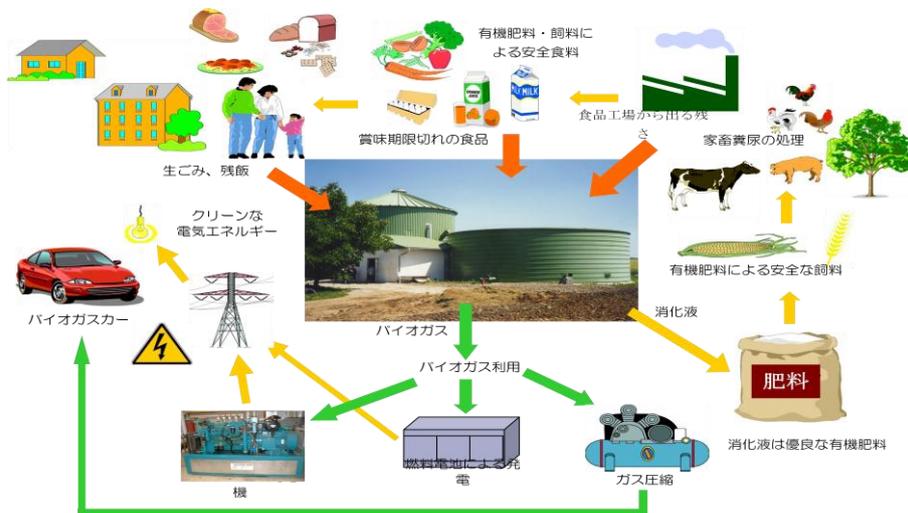
3・11以降、創業時より一貫してエネルギー・ソリューション事業を推進してまいりました当社への要望が、従来のエネルギー・ソリューション・サービスにおける省エネ需要の高まりに加え、発電施策の需要が急速に拡大をみせており、電力供給需要に対する有効な施策の検討を続けて参りました。

今般、平成24年7月1日より「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」の施行が決定し、再生可能エネルギーの全量買取へ向けた施策の法制化が行われたことに伴い、当社は下記のとおり、新事業として「バイオガス発電事業」を推進してまいります。

記

【i】バイオガス発電事業とは

バイオガス発電とは食品系の工場等から排出される残さ、汚泥や牧場、養鶏場等から排出される糞尿、一般家庭から排出される生ごみ、残飯等の廃棄物からメタンガスを発生させ、ガス発電を行うプラントの設置・施工・販売・維持保全を行う事業であります。本事業は導入先に対し、産業廃棄物処理費用の削減とゴミの減容を実現した上で、ガス発電により発生した電力を売電することができ、コスト削減、CO₂削減、及び使用した消化液を有機肥料として活用できることからリサイクルを同時に実現させることが可能であります。



再生可能エネルギーはクリーンなエネルギーを創出する一方で、高額な設備コストと安定的な電力供給が課題となっておりましたが、本事業において、エネルギーの源である廃棄物は十分に確保できるため、24時間の安定操業を実現します。

また、設備コスト面においても、海外で既に確立している技術を活用することで、従来の設備コストの大幅な圧縮が可能となり、事業採算性の高い再生可能エネルギープラントとして提供できると考えております。再生可能エネルギーを活用し、将来的には分散型発電設備として大きな可能性を有する事業であり、スマートシティへの導入を視野に入れた展開を進めて参ります。



[バイオガスプラントの構成]

【ii】 バイオガスプラントの発電能力

日量 80t の処理プラントにおいて、一般家庭の約 190 世帯分の電力を創出します。

※.一般家庭おける時間当たりピーク電力使用量を 2kwh として算定しております。

◆ バイオガス発電設備における発電能力

処理量	80t/日
年間発電量	3,346,320kwh
発電容量	382kw

【iii】マーケット

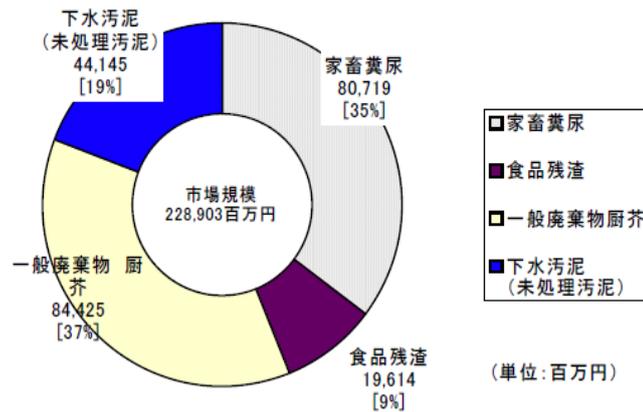
我が国におけるバイオガスの市場規模は 228,903 百万円と推計されており、当社は以下のお客様に対する販売を考えております。

食品工場や養鶏場・養豚場・牧場につきましては、お客様の所有施設で発生する廃棄物より発電すると共に、産業廃棄物の減容が可能となります。産業廃棄物処理事業様におきましては、新たな廃棄物処理方策の一つとしてご活用いただける上、処理過程の中で発生する電力の売電を実現いたします。

いずれの施設もクリーンエネルギーの創出、Co2 削減及び消化液の有機肥料化によるリサイクルスキームの確立が可能です。

お客様	対象廃棄物
食品工場	食品残さ、汚泥
養鶏場・養豚場・牧場	家畜糞尿
産業廃棄物処理事業者	一般廃棄物

図表 1-4 バイオガスの市場規模



(出展：環境省資料等より日本総研作成)

(算出式：年間廃棄物発生量 (t/年) × 単位あたりのバイオガス発生量 (m³/t) × バイオガス単価 (70 円/m³))

以 上